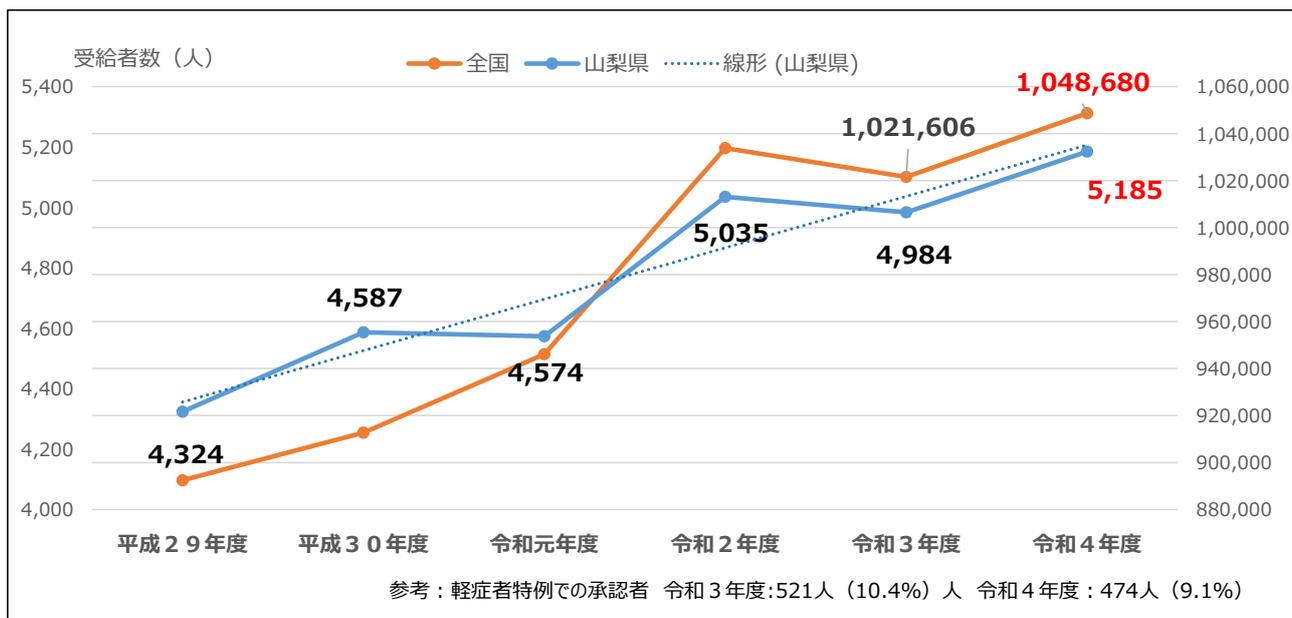


本県の難病医療の現状と課題

(1) 特定医療費(指定難病)受給者数 ※ 出典：衛生行政報告例（年度末時点人数）

特定医療費(指定難病)受給者数の推移（実人数）



〔 R2年度：新型コロナウイルスまん延防止のため自動延長 〕

(2) 疾患群別の特定医療費(指定難病)受給者数(上位3疾患)

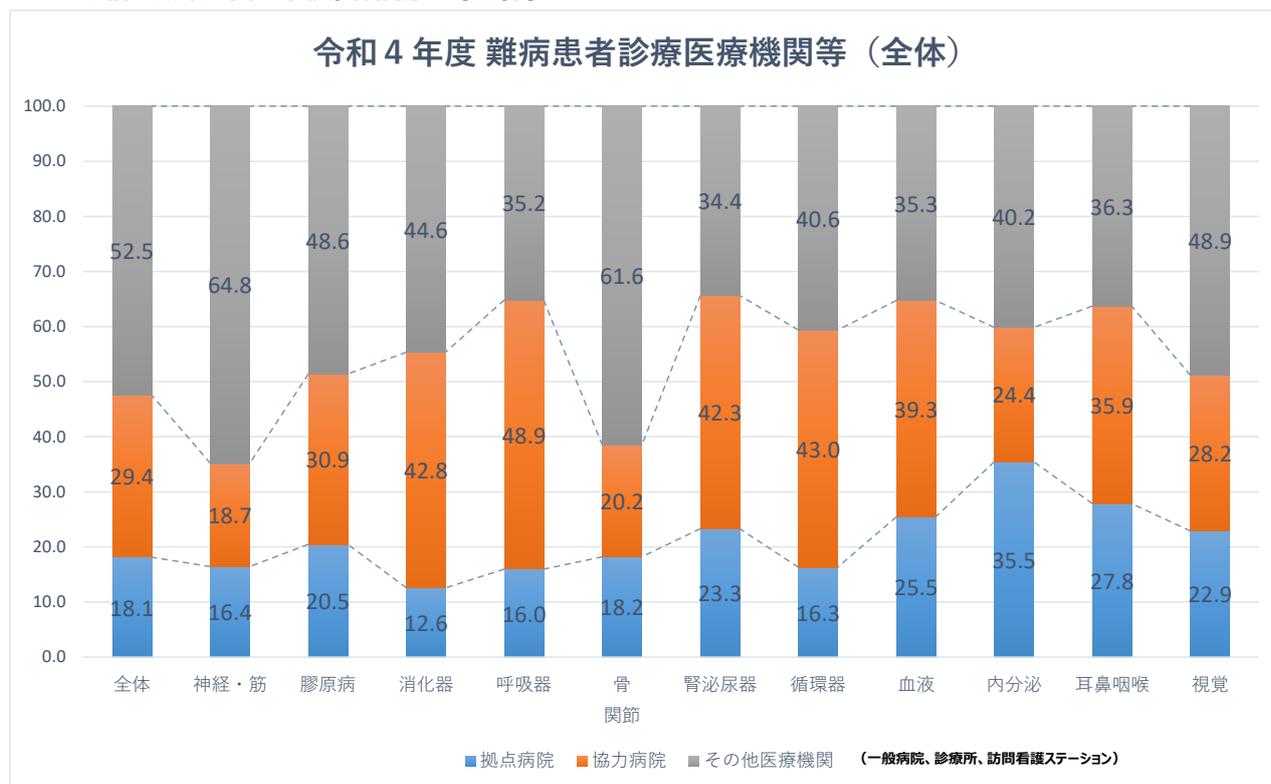
令和5年3月31日時点

神経・筋 1,573名 (R3:1,539名) パーキンソン病 690 (681) 脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。) 169 (170) 多発性硬化症／視神経脊髄炎 144 (141)	約 7 割 受 給 者 の	循環器 188名 (R3:187名) 特発性拡張型心筋症 136 (136) 肥大型心筋症 18 (18) マルファン病 10 (11) パージャヤー病 10 (10)
膠原病 1,133名 (R3:1,099名) 全身性エリテマトーデス 358 (345) 皮膚筋炎／多発性筋炎 179 (174) 全身性強皮症 104 (100)		血液 170名 (R3:167名) 特発性血小板減少性紫斑病 71 (63) 再生不良性貧血 42 (46) 原発性免疫不全症候群 12 (12)
消化器 890名 (R3:879名) 潰瘍性大腸炎 620 (607) クロウン病 195 (192) 原発性胆汁性胆管炎 30 (34)		内分泌 134名 (R3:148名) 下垂体前葉機能低下症 74 (75) 下垂体性成長ホルモン分泌亢進症 18 (22) 下垂体性ADH分泌亢進症 18 (17)
呼吸器 341名 (R3:317名) 特発性間質性肺炎 172 (161) サルコイドーシス 101 (96) 慢性血栓塞栓性肺高血圧症 31 (29)		耳鼻咽喉 167名 (R3:141名) 好酸球性副鼻腔炎 167 (141)
骨・関節 275名 (R3:279名) 後縦靭帯骨化症 145 (146) 黄色靭帯骨化症 48 (45) 特発性大腿骨頭壊死症 41 (42)		視覚 89名 (R3:94名) 網膜色素変性症 85 (90) 黄斑ジストロフィー 3 (3) レーベル遺伝性視神経症 1 (1)
腎泌尿器 216名 (R3:207名) 多発性嚢胞腎 63 (67) IgA腎症 75 (65) 一次性ネフローゼ症候群 59 (56)		

(2) 難病患者の診療医療機関

※ 令和5年3月31日時点において受給者が申請書に記載した医療機関を集計

疾患群別の診療医療機関割合 (全体)



難病医療拠点病院：山梨大学医学部附属病院

難病医療協力病院：山梨県立中央病院、市立甲府病院、JCHO山梨病院、甲府共立病院、巨摩共立病院、韮崎市立病院、山梨厚生病院
 峡南病院、飯富病院、富士吉田市立病院、山梨赤十字病院、大月市立中央病院、都留市立病院

※ 笛吹中央病院は令和5年度から難病医療協力病院に指定のため、「その他医療機関」で計上しています

(現状)

- ・難病患者全体の受診医療機関割合は、拠点病院18%、協力病院30%、その他の医療機関51%だった。
- ・多くの疾患群で拠点病院と協力病院で診療医療機関の半数以上を占めているが、神経筋疾患・骨関節疾患では、その他の医療機関が6割以上を占めている。